

# 社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

計画の名称	16 幹線道路における舗装改良による安心・安全な交通、良好な道路周辺環境の確保			
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度	交付対象	一宮市	
計画の目標				

一宮市内における幹線道路は、実延長で449.2kmの市道1,2級幹線を位置づけている。近年、自動車の重量化や交通量の増加により、特に、幹線道路における舗装の劣化が著しく、安心・安全な交通や道路周辺環境が確保されていないのが現状である。更に、市内における幹線道路を効率・効果的に舗装改良するに当たり、舗装改良路線の優先度を把握することも、喫緊の課題となってきた。こうした中、当市は、旧一宮市・旧尾西市・旧木曾川町の合併により、交通需要が更に増加してきている。このため、緊急に舗装改良を進めるべき2路線を選定し、先行して舗装改良を行うとともに、舗装改良路線の優先度評価調査を行い、その結果に基づいた路線を追加選定することにより、効率・効果的な幹線道路の舗装改良を行い、安心・安全な交通、良好な道路周辺の環境を確保していくことを目標とする。

## 計画の成果目標（定量的指標）

① 優先的に舗装改良が必要な道路の改良率を向上させる。

### 定量的指標の定義及び算定式

① 優先的に舗装改良が必要な道路の改良率を算出する。  
 修繕率 = 舗装改良済延長 / 優先的に舗装改良が必要な道路延長

定量的指標の目標値			備考
当初目標値	中間目標値	最終目標値	
(H23当初)	(H25末)	(H27末)	
0%	40%	100%	<実績値>
	<60%>	<92%>	

全体事業費	合計 (A + B + C)	583 百万円	A	574 百万円	B	0 百万円	C	9 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	1.5%
-------	-------------------	------------	---	------------	---	----------	---	----------	-------------------------------	------

## 事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
一宮市建設部道路課	平成28年度 公表の方法 一宮市ホームページにて公表

## 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																				
A 道路事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27					
16-A1-1	道路	一般	一宮市	直接	—	市町村道	修繕	(1)0112号線	舗装修繕 L=1,280m	一宮市						351				
16-A1-2	道路	一般	一宮市	直接	—	市町村道	修繕	(1)0117号線	舗装修繕 L=2,970m , 未整備 L=339m	一宮市						223				
合計															574					
B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
										H23	H24	H25	H26	H27						
																0				
合計																0				
C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
										H23	H24	H25	H26	H27						
16-C1-1	道路	一般	一宮市	直接	—	計画策定	(1)0108号線 外77路線	幹線舗装改良路線の優先度評価調査業務委託(路面性状調査)	一宮市							9				
合計																9				
番号 一体的に実施することにより期待される効果																				
16-C1-1 舗装改良が必要な路線を選定し、効率・効果的な幹線道路の舗装改良を行い、安心・安全な交通、良好な道路周辺の環境を確保する。																				

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	緊急に舗装改良を進めるべき2路線のうち修繕完了区間において、合併により増加した交通需要に対し、安心・安全な交通、良好な道路周辺の環境が確保された。						
II 定量的指標の達成状況	指標①(優先的に舗装改良が必要な道路の改良率)	<table border="1"> <tr> <td>最終目標値</td> <td>100%</td> <td rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</td> </tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>92%</td> </tr> </table> 優先的に舗装改良が必要な路線延長4,250mのうち、3,911mを整備した。しかしながら、一部の区間において、平成23年8月豪雨による浸水対策として、急遽、雨水管の整備が計画されたことによる施工時期の調整により、最終目標値の達成には至らなかった。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	最終実績値	92%
最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因					
最終実績値	92%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	幹線道路において実施した路面性状調査を基に、市内の改良すべき路線を把握し、今後、優先的に実施する4路線を選定した。						

## 3. 特記事項(今後の方針等)

浸水対策による未改良区間及び追加選定した路線について、引き続き早期の完了を目指すとともに、舗装点検要領を基に修繕計画の見直しを図り、安心・安全な交通・良好な道路周辺環境の確保を継続的に推進していく。

(様式第3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

